

災害医療本部 反省会記録

【到達目標1】 救護所設営手順（場所・位置）や物品の扱い方（発電機・ライト・無線）が役割に関係なく設営できる				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①災害備品の保管場所を確認できた	<input type="radio"/>			
②配置図をみながら設営できた	<input type="radio"/>			今回マイナンバーカード申請受付業務にて会議室は使用できなかったため、協働スペースで実施
③災害備品内容を確認できた	<input type="radio"/>			
⑤物品について				
確認し不足していたもの				
使用できないもの				
あったらよいもの	ホチキス			

【情報伝達・情報整理】				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①医療本部に入ってくる情報の流れを確認できた			<input type="radio"/>	
②各記録用紙を使用できた			<input type="radio"/>	情報カードの行き先の明確化
③ホワイトボードに必要な情報が記載し、整理できた			<input type="radio"/>	

④音声通信がスムーズにできた			○	<ul style="list-style-type: none"> ・画像伝送も実施。 ・薬名や病名は音声では難しいため画像伝送ができてよかった。画像伝送は重要。また音声無線で先方が解っているという体裁で、その後の状況を伺われると難しかった。 ・音声による搬送依頼はトリアージの色・年齢・性別等抜けが多い。細かい取り決めが必要。次回画像伝送実施へ。 ・音声であると病名や薬名は間違いやすい。画像だと間違いが生じにくい。言語のみではなく、紙ベースでの確認が必要。 ・今回の訓練により薬やトリアージのリストにおいて画像伝送の有効性が証明。今までやってきたことは無駄ではなかった。口頭のみで伝えるのではなく、口頭内容を記載したものを用いて、音声無線をやる必要がある。実施するにあたり、今回は無線・オペレーター・記載者で確認しながら実施した。画像を場合は別途人員配置が必要。
⑤無線担当者と記録担当者の連携がスムーズにいった	○			
⑥随時災害対策本部へ必要な情報を報告できた			○	

【役割】				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①各自の役割を実施できた	○			
②手が空いている時に、他の役割をサポートできた	○			

【その他】				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①EMIS入力ができ、活用方法を理解できた			○	一部行政職員のみ入力
②医薬品の供給の流れ・手続きを理解できた			○	<ul style="list-style-type: none"> ・行政・薬剤師会で県の医薬品の流れ手続きを確認した。 ・少量の医薬品の供給（避難所や応急救護所、クリニックからの要請）については、応急救護所の最寄に住む薬剤師が薬局内にある在庫を必要時持参することで対応できる。

【その他意見、反省点等】

- ・アマチュア無線メンバーが会場にいなかった場合どうするのか
- 災害において、無線免許を持っている者が監督すれば無免許の者も使用できる。有事を想定し実施してもよいのでは。
- ・病院等への大きな薬の県への依頼等フォーマットが決まっているため、行政で対応してもらえるといいか。
- 医薬品の把握・管理等という側面から薬剤師会代表が確認することは必要。
- ・コーディネーター・薬剤師会・行政の三者ともに確認したい情報が多々ある。同じ情報を各所で共有するために、どのような情報の流れ・配置・ホワイトボードの活用などでスムーズに対応できないか、フローチャートを再度見直す必要がある。

検討事項

- ・今回の訓練により、薬やトリアージのリスト等において、音声無線の難しさ・画像伝送の有効性を確認できた。
- ・医療本部へ入ってくる情報をどのようにまとめるか、そしてどのように情報を共有するか等混乱がみられた。
- 各会場ごと経時的に情報を記載する等誰で共通理解できる簡潔なルール等整理する必要がある。
- また、医師会・コーディネーター・薬剤師会・行政の長を同席の場を設置し、情報を共有する配置にする等、効率的な情報共有方法を検討する必要がある。